

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ホームセンタームサシ貝塚店SM棟	階数	地上1F
建設地	貝塚市小瀬	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	725 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,240 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年1月 予定	評価の実施日	2019年7月2日
敷地面積	38,061 m <sup>2</sup>	作成者	酒井 滋
建築面積	2,976 m <sup>2</sup>	確認日	2019年7月2日
延床面積	2,883 m <sup>2</sup>	確認者	酒井 滋

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.3**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.5

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	主要な用途上位三種の2種以上にB以上を使用し、Eは不使用	その他 特に無し
Q1 室内環境	特に無し	Q2 サービス性能 天井高さ3.99m確保し、心理性、快適性に配慮した
Q3 室外環境(敷地内)	特に無し	特に無し
LR1 エネルギー	BPI <sub>m</sub> =0.89	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材が容易に分別可能な建材を採用し、部材の再生利用に配慮した
LR3 敷地外環境	十分な量の駐輪場、駐車場を確保することで交通負荷抑制に配慮した	特に無し

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0061

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	ホームセンタームサシ貝塚店SM棟増築工事					
		建設地	貝塚市小瀬					
		用途/区分	物販店					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B-	
①	CO2削減					4		
②	みどり・ヒート アイランド対策					2		
③	建物の断熱性					4		
④	エネルギー削減					4		
⑤	自然エネルギー直接利用					—		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.8	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.1	4	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.8	4	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称	考慮事項					
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								